



「学ぶ」ということ

校長 酒井 宣幸

昨年弟が急逝し、突然、相続の問題に直面しました。また、附属学校勤務に際して市の教員職を退職することとなり、退職金を手にしました。この2つの出来事に対応するために、司法書士・税理士・金融機関や役所の方等さまざまな方々とやり取りを経験しましたが、自分が税のことや金融・保険などに関してとんと疎いことを痛感させられました。40年余り社会人として生きてきたにも関わらず、新たに学ばなければならないことが雨あられのように降りかかってきたわけです。しかし、知らなかった世界にふれることは喜びも多く（多額の税金を納めるのは正直うれしくないですが…笑）、まさに「学ぶこと」は「生きること」と同義であると感じた1年間でした。

私は、長年教育にたずさわる中で、常に「勉強」を「学び」にしたいと考えてきました。近年の教育界でも「子どもの主体性」「子どもを主語にした学び」という言葉があらゆる場面で聞かれるようになりました。附属静岡中学校は、まさにこのことを長年にわたって研究してきた学校といえます。「子ども自らが主体者となって学ぶ授業を、教師と子どもたちが一緒になって創りあげる」ことをめざしているといったら伝わるでしょうか。

現在、本校で研究している「学びの自覚」では、「『学ぶ』」ということは、こういう営みを通して生まれるのではないだろうか？」と、子どもたちと授業者が一体となって追求することを通して、これからの時代を自らの手で豊かに切り拓いていく資質を培う（同時に、教員にとっては教育の本質を見つめ、問い続ける）ことをめざして研究を行っています。

今後もより研究の質を高めるために、研究発表会を通して多くの先生方に忌憚のないご意見をいただきたいと願っております。多くの先生方のご参加をよろしくお願いいたします。

▶ 教科別協議会

教 科	助言者 (氏名・所属)		協力委員 (氏名・所属)		共同研究者 (静岡大学)
国 語	国立教育政策研究所	山内 裕介	静岡市立安東中学校 焼津市立小川中学校	高山 浩二 藤ヶ谷夏奈	大塚 浩 坂口 京子 中村ともえ
数 学	静岡市教育センター	岡部 貴史	牧之原市立相良中学校 静岡市立城内中学校	櫻井 辰徳 森谷 尚久	峰野 宏祐
理 科	国立教育政策研究所	小林 一人	富士市立吉原第三中学校	小永井俊樹	郡司 賀透 内山 秀樹
社 会	国立教育政策研究所	磯山 恭子	静岡県立清水南高等学校中部	漆畑 元基	佐藤 正志 西野 肇
英 語	静岡市立城内中学校	笠井 真理	富士市立元吉原中学校 藤枝市立瀬戸谷中学校	稲垣 研人 杉山 寛陽	矢野 淳 大瀧 綾乃 クレメンツ・ピーター
音 楽	静岡県教育会館	池谷 英人	島田市立島田第二中学校	兵庫 廣多	長谷川慶岳 東屋敦尚子
美 術	静岡市教育センター	池田しのぶ	静岡市立清水第六中学校	杉浦 弥生	芳賀 正之 川原崎知洋
保健体育	御殿場市立富士岡中学校	芹澤 博一	裾野市立西中学校	遠藤 泰光	野津 一浩
技 術	静岡市教育センター	望月 勇紀	静岡市立籠上中学校	仲嶺 春平	室伏 春樹 松永 泰弘
家 庭	静岡市立西奈中学校	友田未由紀	御殿場市立富士岡中学校	鈴木 愛子	小清水貴子
学校保健	静岡市教育委員会	渡邊 睦美	静岡市立高松中学校 静岡市立東源台小学校	里見 恵 白鳥 明美	鎌塚 優子

※敬称は省略させていただきました。

静岡大学教育学部附属静岡中学校

令和7年度

教育研究発表会のご案内



研究主題

学びの自覚

—「観」を豊かにすること—

期 日 令和7年10月31日（金）
会 場 静岡大学教育学部附属静岡中学校
講演会 「裁量拡大の時代に備える
一次期学習指導要領の方向性を踏まえて」

講 師 上智大学総合人間科学部
教授 奈 須 正 裕 先生
静岡大学教育学部
教授 村 山 功 先生
主 催 静岡大学教育学部附属静岡中学校
後 援 静岡県教育委員会・静岡市教育委員会



奈須 正裕 先生



村山 功 先生



静岡大学教育学部 附属静岡中学校

〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1番86号

TEL 054-255-0137 FAX 054-252-7335

E-mail osizuchu@shizuoka.ac.jp

URL https://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shizuchu/

HPには、教育研究協議会のお知らせや、日頃の授業のようすなどを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



▶ 日 程

8:40	9:10	9:30	9:50	10:40	11:00	11:50	13:00	14:20	14:40	16:15
受 付	全 体 発 表	移 動	公開授業 第1時	移 動	公開授業 第2時	昼 食		教科別協議	移 動	講 演
〈全体発表について〉 *本年度は体育館にて対面で行います。 例年のようなオンラインでの事前公開はございません。						学校保健	受 付	実践報告	移 動	講 演
						12:40	13:00	14:20	14:40	16:15

▶ 公開授業 第1時 9:50～10:40

教科	学級	題 材 名	概 要	授業者
国 語	3 年 D 組	言葉にならない考え達に。	「頭の中ではわかっているのにうまく言葉にならない!」という悩みは大人も学生も同じようです。どうしたら思考が言葉となってくれるのか。書籍という先人の知恵を頼り、追求してみます。	三島 将弘
社 会	2 年 C 組	どうなの家康!? ―江戸時代の社会の姿から考える―	「徳川の平和」が約260年続いた江戸時代は、人や時代によって様々に語られます。本当に“天下泰平の世”だったのでしょうか。近世の日本から“よりよい社会の姿”について子どもたちとともに考えていきます。	黒柳 友義
数 学	2 年 A 組	だいたい、 こんな感じかな。	予想を立てることは、思考のたまご（きっかけ）になると思います。その予想から、焦点を絞ることで、根拠と言えることがみえ、予測することができます。データからみえるものは一つとは限りません。何がみえるか、子どもたちと一緒に探しましょう。	勝又 俊
理 科	1 年 C 組	“見えるもの”の 見えないしくみ ―身の回りの現象から探る、 私たちが見ている世界―	毎日目の前にあるけれど、自分に見えていないものがあるかもしれません。身の回りにある不思議な物理現象から、子どもたちが自ら問いを立て、科学的な探究を積み重ねていきます。私たちが見ている世界に、「科学のまなざし」をもって向かい合ったとき、どのような姿が現れてくるのでしょうか。	糟屋 晃久
音 楽	1 年 B 組	ウチナーの民謡🌸 かみていみそーれ🌸	「心にしみるメロディーだな」「こんな音楽とともに生きてきた人たちは、どんな思いで暮らしてたんだろう」「その思いを伝えるためには、どんな表現がふさわしいかな」民謡を通して、音楽と子どもたちの心が結びつく瞬間を見に来ませんか？	清水 美奈
保 体	3 年 A 組	勝ちにいくことに 価値はあるのか!?	皆さんにとって、スポーツとはどのようなものでしょうか。スポーツで勝つことは、本当に価値があることなのでしょうか。本題材を通して、子どもたちと一緒にスポーツについて考えてみませんか。もしかすると、豊かなスポーツライフの実現につながるヒントが見つかるかもしれません。	勝野由志雄
英 語	1 年 A 組	Be Curious, Be George	アニメ“Curious George”を視聴し、主人公“George”の鳴き声にフォーカスし、語られぬ思考や感情をイメージし、英語で自由にアフレコを入れます。アニメの中の生き生きとした英語表現が、だんだんと子どもたちの言葉になっていく瞬間は必見です!!	小野 瑞歩 Bjorn Christenson

▶ 公開授業 第2時 11:00～11:50

教科	学級	題 材 名	概 要	授業者
国 語	1 年 B 組	『少年の日の思い出』 ―そうか、そうか、つまりこの 物語はこんな話なんだな―	物語文を一度読んで「わかった!」と思っても、それだけで十分とは限りません。本文に何度も立ち返り、言葉にこだわりながら時間をかけて読み進めることで、初めて見えてくる「何か」があるかもしれません。	井上 由貴
数 学	3 年 B 組	あなたの目には どう写るんです?	「はいチーズ!カシャ!」今、どのカメラを想像しましたか。撮り直しや画像の加工がいくらでもできる今日、カメラマンの並びを数学的に考察する子どもたちと一緒に、リアルな学びの一瞬一瞬を切り撮ってみませんか。	児玉 祐樹

教科	学級	題 材 名	概 要	授業者
美 術	2 年 D 組	日本の美しさを プロデュース ―脈々と受け継がれる日本の美 意識、日本の心を未来へつなげる―	昨年度、「ひみつの友達」をプロデュースした子どもたちが、今年度は「日本の美しさ」をテーマに、新たな挑戦を始めます。 子どもたちは、脈々と受け継がれる「日本の美意識」、「日本の心」をどのように感じ、表現していくのでしょうか。	望月 理恵
技 術	1 年 D 組	生成AIと私たちの生活 ―学校生活で生成AIを どう生かせるか―	生成AIを使えるようになった子どもたちは、「すぐに答えを調べよう」「レポートをAIに書かせよう」とするかもしれません。「それって本当にダメなこと?」「どう付き合っていけばいいの?」―その答えを、実際に学校生活の中で生成AIを使いながら、子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。	松原 佑
家 庭	3 年 C 組	いつか自分も…… ―ともに生きる―	「高齢者体験をして終わり」ではなく、もっと深く高齢者について子どもたちが考え、見いだしていく視点から、たくさんの高齢者像が見えてくるのではないのでしょうか。いつか自分も通る道……ともに生きる存在としての高齢者に子どもたちと一緒に浸ってみませんか。	平林亜希子
英 語	2 年 B 組	What is a color of YOUR own?	小学校国語の授業で扱われる『スイミー』の著者で有名なレオ・レオニ。代表作の1つ“A color of his own”と彼が手がけたいくつかの絵本を読み解く中で、彼が何を大切にし、私たちに何を伝えたかったのか、子どもたちが迫ります。	松永 有未 Matthew Coughlin

▶ 学校保健 実践報告 13:00～14:20

教科	会場	実 践 名	概 要	報告者
学 校 保 健	2 A 教 室	気づき・つながり・動き出す 養護教諭から働きかける救急 対応・危機管理の体制づくり	子どもたちの安心・安全を守るために、養護教諭ならではの気づきを活かし、それを学校全体へ共有して動ける仕組みづくりについて一緒に考えていきましょう。	金子さやか

〈申込方法〉

- 参加ご希望の方は右の二次元コードを読みとり、Google Formに必要事項を入力の上、お申し込みください。申し込み期限は **10月23日(木)** になりますが、応募状況によっては、期限前に締め切ることもありますのでご了承願います。
- 事前連絡のない当日の参加はご遠慮ください。



〈参加費〉 **無料**

〈昼 食〉 弁当の販売は行いません。各自でご持参ください。

〈発表会前後の授業公開について〉

- 発表会の前後の2週の授業参観を受けつけております。当日の参加が叶わない方も含めて、発表会前後の授業のようすをご覧になりたい方は、本校研修部(osizuchu@shizuoka.ac.jp)までお問い合わせください。

〈その他〉

- 駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。
- 今後の状況によって、開催方法等が変更になることがあります。その際は本校ホームページや、お申し込み時に登録いただいたメールでお知らせいたします。